

「日本トランスパーソナル学会東北支部 平成21年度 第3回研修会」

バイオインテグラル・サイコセラピー

人類は、永きに渡って「からだ(body)」「こころ(mind)」「魂・精神(soul,spirituality)」を渾然一体のものとみなしてきましたが、近代科学の発展に伴い、それらは分離され、独立の分野としてそれぞれに展開されてきました。

分離されたことにより専門性が高まり、科学は進歩し、その恩恵を私たちは受けています。その反面、本来、不可分である有機体としての一体性は、軽視され、あるいは無視されてしまいました。その弊害は、現代社会においては顕著となっています。そのような背景を顧みて、いまや、ホリスティック(全体的)、インテグラル(統合的)な方向性は、ひとつの大きな潮流となっています。

BIP(バイオ・インテグラル・サイコセラピー)は、人間の生命(バイオ)に、統合的(インテグラル)にアプローチする心理療法(サイコセラピー)であり、生命統合を指向する心理療法、あるいは身体心理療法(ボディサイコセラピー)です。

※ バイオ・インテグラル・サイコセラピー・スクール(BIPS)の案内サイトから抜粋。

【日時】 平成 22年 5月 22日(土)10時 ~ 23日(日)17時終了

【会場】 茂庭荘
仙台市太白区茂庭字人來田西 143-3 TEL:022-245-5141

【参加費】 <宿泊> 一般 26,000円 会員・学生 23,000円
(先着 20名) <日帰り> 一般 21,000円 会員・学生 18,000円

【講師】 小原 仁 氏 (当学会理事/日本バランシング協会代表)

《講師プロフィール》

1980年関西大学大学院社会学研究科博士課程修了。同年4月関西大学社会学部専任講師。人権問題研究所研究員。1982年4月助教授。学生部長代理2期4年歴任。1986年3月退職後、かねてからの人間学研究をベースに研究所所長、セミナー・トレーナー、カウンセラーとして生涯学習活動に従事。現在 JBT 日本バランシング協会、コハラワークス (小原身心統合教育研究所) 代表を務める傍ら、30数年間のワーク体験をベースに <ホロノダイナミック・バランシング> を提唱し、個人ワーク、グループワーク、カウンセラー、セラピスト、ボディワーカーの養成に活躍中。

★ お申し込みは、メール (nosasaki2002@yahoo.co.jp) または FAX (022-243-0281) にて「日本トランスパーソナル学会 東北支部事務局 佐々木」までお知らせ下さい。

※ 注意 参加費 (上記の中から該当する金額) を下記にお振込み願います。ご入金を確認させて戴いた時点で正式な受けつけとなります!

銀行名 : 七十七銀行 仙台原町支店 (※注意「仙台支店」ではありません。)

普通口座 : 5459192

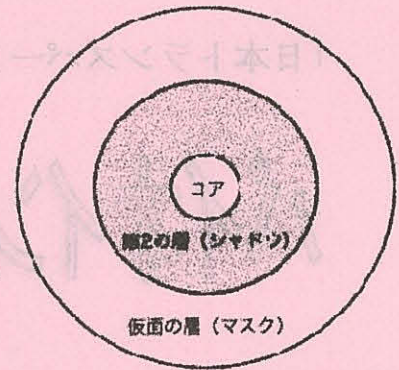
口座名義 : 日本トランスパーソナル学会 東北支部

「バイオインテグラル・サイコセラピー (BIP)』 とは

<http://www.bodypsychotherapy.jp/index.html> 案内サイトより

BIPS (バイオ・インテグラル・サイコセラピー・スクール) では、頭にバイオがつく主に4つの身体心理療法: バイオエナジェティックス、バイオシンセシス、バイオシステムミックス、バイオダイナミックスをそれぞれの共通点と他と異なる特徴を明確にしながら、統合した形で研修し、人間の健康と成長に貢献することを目的にしています。

現代を象徴する病理はストレス、ボーダーライン、トラウマ、(そして健康とはなにかの概念も含む)と言えるでしょう。これらを抱え、悩む人間そのものを理解しようと、「からだ、こころ、魂 (soul, spirituality)」からアプローチし、模索し、考えを進めてきた人々の理論と実践を、この4つのバイオの学派を中心に統合するのがBIPSです。BIPSは、ヨーロッパ・ボディサイコセラピー協会 (EABP) に認定され、国際サイコセラピー協会にも属しています。



全ての源: ウィルヘルム・ライヒ

最初に、こころとからだの一体性に注目したのはフロイトの弟子「ウィルヘルム・ライヒ」です。彼は言葉ではうそをつけてもからだはうそをつかない、つまり身体表現が多くのことを物語り、暴露し、そして手掛かりを与えてくれることを見つけました。人が自分を防衛するために身につけた性格の鎧は、筋肉の緊張、あるいは過度の弛緩という形でからだにも鎧を作り上げます。ライヒは直接これらの筋肉に働きかけて、そこに含まれる感情のエネルギーの解放を促す方法を見つけます。そして、呼吸が大きな役割を果たしていることにも注目しました。「神経症者で呼吸の問題を抱えていない人はいない」ということも断言しています。ライヒの性格論の中心は、人が世間に見せているマスクの下に破壊的な感情を含む第二の層 (シャドウ) があること、しかしその下には全ての人が人間性にあふれたコアを持っていることを強調した点です。怒りや憎しみ、深い悲しみが十分に表現された後で人が見せる愛にあふれた豊かなエネルギーはコアから流れてくるものです。ライヒはまた人は皆、生まれながらに自己調整力、セルフレギュレーション能力があることも強調しています。

アメリカでの展開

アレクサンダー・ローエンのバイオエナジェティックス

このライヒの性格論を、さらに成長の過程と密接に関連づけ、からだの特徴も交えて完成させ性格分析の基本を作ったのは、アメリカ人の「アレクサンダー・ローエン」です。ローエンはエネルギーを活性化させて放出する多くのエクササイズを考案し、そのセラピーをバイオエナジェティックスと命名しました。エクササイズの多くは自分の性格と体の鎧を解く方法として、仲間のジョン・ピエラコスとともに自身の体で試しながら磨き上げたものです。ローエンの一番の貢献は何と言っても、自立の基本となるグラウンディングのエクササイズと概念を明確にした点です。バイオエナジェティックスではからだを読み、筋肉の緊張を緩めると同時に常に性格分析を行います。

アイコンタクト、タッチなどに関しても最近の母子関係の研究から、子供が許容できる以上の過度のコンタクト、エネルギーによる侵入が問題になっていることから、クライアントのニーズに基づいて、程よい関係を探ることの重要性を強調している点もヨーロッパからきている主な流れです。

- ※1 今回行われるBIPは、東北ではなかなかお目にかかることができない貴重なセミナーです。営利目的ではない学会主催ということで、このようなとても安い参加費で受講できる運びとなりました。
- ※2 日本トランスパーソナル学会主催のセミナーは、他の団体資格の更新ポイントに換算できる場合があります。参加された方には受講証明を発行致しますので、詳しくは各所属団体の事務局にお問い合わせ下さい。